

# Jabber Presenceの問題に関するMicrosoft Outlookログの収集方法

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[MS Outlookログファイル生成を有効にする方法](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Microsoft Outlook for Jabber Presenceの問題からログを収集する手順について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Jabber for Windows
- Microsoft Outlook
- Post Office Protocol 3(POP3)
- Simple Mail Transfer Protocol ( SMTP )
- Messaging Application Programming Interface(MAPI)
- IMAP ( インターネット メッセージ アクセス プロトコル )

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Microsoft Outlook 2007
- Microsoft Outlook 2010

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## MS Outlookログファイル生成を有効にする方法

Microsoft Outlook 2010

ステップ1:[File] > [Options]に移動します。

ステップ2：左側のフレームで[Advanced]を選択します

ステップ3：右側のフレームで、[Other]セクションの[Enable troubleshooting logging]オプションをオンにします

ステップ4:[OK]を選択します

ステップ5:Microsoft Outlookを閉じて再起動する

### Microsoft Outlook 2007以前

ステップ1:[Tools]を展開し、[Options]を選択します

ステップ2:[Other]タブを開きます

ステップ3:[Advanced Options]を選択します

ステップ4:[Enable logging (troubleshooting)]オプションを有効にします

ステップ5:[OK]を2回選択

ステップ6:Microsoft Outlookを閉じて再起動する

このオプションを有効にすると、メッセージが送受信されるたびに、アプリケーションログがMicrosoft Outlookとメールサーバ間の対話に関するすべてのデータの登録を開始します。

**警告：**問題が再現され、ログが収集されたら、ログ収集を無効にします。Outlookのログファイルは増加し続け、すべてのハードドライブのリソースを消費する可能性があります。

### ログファイルの場所

- POP3、SMTP、MAPIプロトコル

`%temp%\Outlook Logging\Opmllog.log`

- IMAPプロトコル

`%temp%\Outlook Logging\IMAP-username-username-date-time.log`

**注：**ログファイルが表示されない場合、または現在のデータが含まれていない場合は、Microsoft Outlookを終了します。現在アクティブでないときにデータをログに登録できるためです。

## 関連情報

- [Microsoft Guide to Enable Advanced Logging](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)